

A Message for the New Year

「将来」を意識した まちづくりに取り組みます

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうござ
います。皆さまには、健やかに新
春をお迎えのこととお喜び申し上
げます。また、日ごろからの町政
へのご支援、ご協力に感謝申し上
げます。

昨年は、宗像市の沖ノ島と関連
遺産群が世界遺産に登録されるな
どの明るい話題があった一方、7
月に朝倉市や東峰村を中心とした
九州北部豪雨災害が発生するなど、
大きな自然災害に見舞われた年で
もありました。被災された皆様に

心よりお見舞い申し上げます。

岡垣町では、これまでに整備した
施設や環境を最大限に生かし、定住
人口の増加と活力あるまちづくり
に向けた新たなステージへのステッ
プの年とし、「住民の皆様が安全で
安心して暮らせるための環境整備」
と「人口維持の鍵となる子育て支
援」に重点的に取り組みました。

安全安心のまちづくりのための
主な取り組みとして、緊急時の防
災情報や地域情報を受信できる地
域情報伝達無線システム「でんた

つくくん」の戸別受信機の各世帯への設置を進め、おおむね7割の世帯に設置を完了しました。

また、子育て支援では、昨年10月から子ども医療費の通院助成を中学生まで拡大するとともに、子どものインフルエンザ予防接種費用の助成制度を開始しました。さらに、平成28年度から継続して支援している岡垣東部保育所の建て替えについては、昨年12月に施設が完成し、平成30年度からの定員拡大に向けて園庭の整備などを残すのみとなりました。

本年は、地域情報伝達無線システム「でんたつくくん」の4月からの運用開始に向け、戸別受信機の設置を引き続き進めるほか、待機児童解消のための施設整備に継続的に取り組めます。

我が国の人口は、すでに減少に転じており、岡垣町にとっても、深刻な人口減少への対応は大きな課

題となっています。また、少子高齢化の進展に伴う社会保障費や老朽化した公共施設の整備費用の増加など、課題も山積しています。このため、行政改革を実行し、将来を見据えた行財政経営を行います。

平成23年度からスタートした第5次総合計画に掲げたさまざまな政策も着実に実施しており、7年目となる本年は、いよいよ計画の総仕上げの段階に入ります。私は、これからも可能な限り現場に直接伺い、皆様のご意見を聴きながら「今できること、今しかできないこと、今しなければならぬこと」を常に意識し、まちづくりに取り組んでいきますので、皆様のご支援とご協力をよろしく願います。

最後に、平成30年の町民の皆様のご多幸とご健康を心から祈念申し上げます。新年のごあいさつといた

岡垣町長
宮内 實生